300–1100 MHz 1入力2出力増幅器



確認済み機能図はIN1から増幅器を経てOUT1、OUT2へ接続。表は300–1100 MHz、代表利得30 dB、Psat代表8 dBmを規定。雑音指数は未記載です。

代表電源5 V、電流100 mA。機械仕様表は50 × 40 × 13 mm、SMA-Kメスを規定。表示図は機能模式図で、正確な筐体外形図ではありません。

電気仕様

項目	値	単位
動作周波数	300–1100	MHz
利得	30 (代表値)	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	8 (代表値)	dBm
入力S11（資料の符号付き値） [2]	−10 (代表値)	dB
電源電圧	5 (代表値)	VDC
動作時電流	100 (代表値)	mA

[1] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[2] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

絶対最大定格

項目	値	単位
電源電圧の絶対最大定格	≤7 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 7 VDC.)	VDC
入力電力の絶対最大定格	≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.)	dBm
動作温度	−40–+70	°C
保存温度	−40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF入力コネクタ	SMA-Kメス
RF出力コネクタ	SMA-Kメス
DC電源端子	貫通コンデンサ
接地端子	接地金属片
RF入力端子数	1

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF出力端子数	2
信号経路	1入力を増幅後に2出力へ分配

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	50 × 40 × 13	mm

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。